

製品名: CRMP2 (8S4) ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe09412**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,FC,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	ウサギ IgG（リン酸緩衝生理食塩水、pH 7.4、150mM NaCl、0.02% 新型保存料 N、50% グリセロール含有）。短期保存は+4°C、長期保存は-20°Cで保存してください。凍結融解サイクルは避けてください。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:2000-1:20000,IHC 1:200-1:1000,ICC/IF 1:50-1:100,FC 1:20-1:100,IP 1:10-1:100
分子量	62kDa

抗原情報

遺伝子名	DPYSL2
別名	DRP2; CRMP-2; N2A3; Unc-33-like phosphoprotein 2; ULIP-2; DPYSL2; CRMP2; ULIP2; Musunc33; TOAD64;
遺伝子 ID	1808.0
SwissProt ID	Q16555
免疫原	ヒト CRMP2 の合成ペプチド

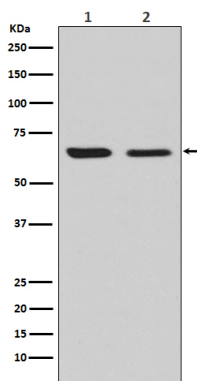
背景

クラス3セマフォリンによるシグナル伝達とそれに続く細胞骨格のリモデリングに必要。軸索誘導、神経成長円錐の崩壊、細胞移動に関与。神経細胞の発達と極性、軸索の成長と誘導、神経成長円錐の崩壊、細胞移動に関与。クラス3セマフォリンによるシグナル伝達とそれに続く細胞骨格のリモデリングに必要。エンドサイトーシスにも関与する可能性がある。

研究分野

軸索ガイダンス;

画像データ



(1) U87-MG 細胞溶解物、(2) NIH/3T3 細胞溶解物における CRMP2 発現のウェスタンブロット解析。